

あしや子ども風土記

芦屋の地名をさぐる ⑭

町名のいろいろ(12)

芦屋の町名は、山と海の豊かな自然環境や、古代から現代にかけて起こったさまざまな出来事が、町名に受け継がれています。

由来を考えていくことで、人々の暮らしと町名の関わりや、地域の歴史や文化の再確認をすることができると思います。

竹園町

むかしの小字に古新田という地名がありますが、江戸時代の前期およそ三百年ほど前に耕作のため田が開発されたところから竹園の町名は、竹林や緑地が多かったの付付けられました。むかしの集落が発展していく方向を示しています。

したことでしょう。

芦屋浜に近い平坦地の竹園町は、交通の発達とともに大正時代の初めから終わりころまでにほとんど住宅地になりました。

西国街道の浜街道国道43号に面していたので道中の旅人は、白砂青松の芦屋浜を見て、潮風や波の光に旅の疲れを癒



竹園集会所



芦屋公園に立つ記念碑

浜芦屋町

浜芦屋の町名は、芦屋浜に近いことによります。むかしの小字名の辰新田は、松浜町と同じく江戸時代に田地の開発が行われたところから

大正時代になって、芦屋川沿いに宅地造成が進めら

れたところに次々と家が建ち、住宅地になりました。

芦屋公園(芦屋川遊園地)ができたのもこの時です。公園の松のある風景は、そのころの文学の名作の中に

よく描かれています。公園の中には、芦屋川の

改修工事などに尽くした精道村をたたえた記念碑や、むかし弓の名人の源頼政が

京都で怪物のぬえを退治し、その死がいが芦屋浜に流れたので葬ったと伝える「ぬえ塚」の碑などがあります。

精道町

明治十九年(一八八六)芦屋小学校は、精道小学校に呼び名を変えました。「精道」という言葉は「養精修道」から二字をとって付けられたといわれています。

町名の精道は、精道小学校によります。明治二十二年の四月、江戸時代の芦屋三條・津知・打出の四つの村が一つになって、精道小学校の校名をとって精道村が生まれました。

大正十二年(一九二二)六月、今の市役所の北側に、そのころ日本一といわれた鉄筋コンクリート造りの精道村役場ができました。

小字名の樋ノ口新田は、むかし開かれた田地の地名です。明治になって、鉄道や電灯がつき、いち早く住宅や学校・役場・郵便などの公共施設が整えられ、道路・緑地・建物などの都市施設発展のよりどころになりました。

平田町・平田北町

芦屋川の西、国道43号の南側が平田町で北側が平田北町に分かれています。むかし芦屋村と呼ばれていたころは、二つの町の小字名は平田でした。平田は平坦な土地と田地があつたことによります。

大正時代から昭和の初めにかけて、芦屋浜に近い白砂青松に恵まれた住宅地として宅地造成が行われ、広い庭や樹木の多い和風や洋風の住宅が増えました。

町の西側を傍流川が流れていますが、傍流は神戸市との境界を示しています。芦屋川にかかる、ぬえ塚橋の名前は、対岸の芦屋公園内にある、ぬえ塚の伝説によります。



平田町の町並み

●平成九年に発行した「あしや 子ども風土記」芦屋の地名をさぐるを詳しく紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。

商業登記

- 会社・各種法人・組合などの設立
- 役員の変更
- 商号や目的(事業内容)の変更
- 本店または支店の移転
- 合併や営業譲渡など企業再編
- 有限会社から株式会社に組織変更

不動産登記

- 不動産の所有者が変わったとき(売買)(相続)(贈与)
- 不動産を担保にしたとき
- 不動産を担保にしている返済が終わったとき
- 不動産所有者が住所や氏名を変更したとき
- 不動産を貸したとき、借りたとき
- 売買の予約や、条件付・期限付で売買、贈与をしたとき

広告



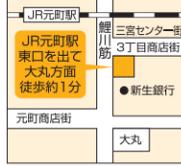
司法書士 山村直子

毎月の返済を楽にするための債務整理や払いすぎた利息の返還請求。遺言の作成や信託などの相続税対策、成年後見をはじめ財産管理をお考えの場合にもご相談に応じます。

個人の秘密は厳守いたします。安心してご相談ください。

あずさ司法書士法人 一神戸オフィス
兵庫県司法書士会 法人番号 30-00023
神戸市中央区三宮町3丁目7番10号 協栄ビル4F
<http://www.azusa-office.jp>

TEL.078-958-6070 受付時間/AM10:00~PM7:00
司法書士 山村直子 ■兵庫県司法書士会 第1682号 ■簡裁代理認定 2004年3月1日 第212355号



シリーズあしや子ども風土記

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

■シリーズ「あしや子ども風土記」は、美術博物館・市役所売店で販売しています。



第2集「歴史さんぽ」・第3集「植物のかんさつ」・第4集「小さな生きものたち」・第5集「文学さんぽ」と第9集「写真で見る芦屋今むかし2」は各400円。第6集「芦屋の地名をさぐる」・第7集「写真で見る芦屋今むかし1」・第8集「描かれた芦屋の風景」は各500円。第1集「伝記・物語」は完売しました。

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしやON LINE』でご覧いただけます。